

# 国際関係概論 10

林 光

2007年6月28日 木曜日

## 0 事務連絡

「半民主・半独裁の体制が最も戦争継続に固執することのだが、どんな国が該当するのか挙げられなければ根拠がないということでは？ そんなにいい加減な話をするな！」

要するに以上のような批判がありました。まずは自分の知識不足をお詫びします。<sup>1</sup>ただ、覚えておいてほしいのですが、社会科学の理論というものは、自然科学のそれとは違ってかなり水物です。この授業で紹介するような最先端の理論ほどそうだとと言えるでしょう。観察される事実からはほぼ疑いようのないデモピー論ですら、理論的にはまだまだよくわからないのです。いつぞやこの大学の有名教授が、どんな研究をすべきかという問いに対し「面白くて、新しくて、...正しきやなおい！」と発言されました。この授業もまさに同じ精神に基づいています。ひょっとしたらいい加減な話しかも知れないけど、「自分で考える」という視点からすると好ましい材料を紹介してるつもりです。学生諸君におかれては、ぜひともこちらのお話を鵝呑みにしないで、絶えず「ほんとかな？こんな風には考えられないかな？」と頭を働かせてください。

「(同盟の話の延長として)日本の集団的自衛権の話はどう思いますか？」

例によって現実の話はほとんど知らないのですが、日本は恐らく北朝鮮(潜在的には中国@台湾も?)を脅威と考え、米から「見捨てられる」可能性を減らそうとしてるんでしょう。これは同時に「巻き込まれる」可能性も高めるわけですが、個々人がそのバランスをどう評価するかということになります。<sup>2</sup>

<sup>1</sup>ちなみに今回の理論は“War and Punishment (Goemans, 2000: Princeton UP)”に基づいています。そこではデータ分析のほかに第一次大戦終結の事例が挙げられており、英仏が民主制、独露が半民主・半独裁の体制とされています。

<sup>2</sup>ちなみに、自衛隊は圧倒的に専守防衛型だそうで、北朝鮮まで

## 1 戦争の抑止

### 1.1 抑止

コミットメントの信頼性の欠如  
：事前のコミットメントを反故にする動機が生じてしまう状況

事後には実行することが最適でなくなるから。  
脅迫はその最たる例

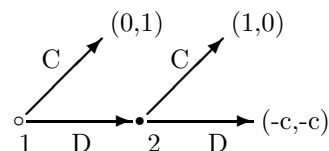


図 1: Threat Game

### 1.2 チェーンストア・パラドクス

もし

プレイヤー 1 = 地元小売店,  
プレイヤー 2 = チェーンストア

だとしたら？

本当にチェーンストアはCを選ぶか？  
実は選ばない可能性がある。なぜか？  
ヒント：不完備情報

攻めていく(例えば敵基地・ミサイル発射台を叩く)ような能力は皆無だそうです。

### 1.3 核抑止

#### 核兵器

- ・ 陸：ICBM（大陸間弾道ミサイル）
- ・ 海：SLBM（潜水艦発射ミサイル）
- ・ 空；戦略爆撃機

= 攻撃側ではなく抑止側の勝利．攻撃は無意味  
 × 完膚無きまでに叩きのめすことができないから  
 返り討ちにあうからこれは防御優位と等価．

1. 安上がり．GNPのごく一部で可能
2. 第二撃能力という形で双方が安全を向上
3. 第二撃能力の維持は容易
4. 先制攻撃の誘因なし

文民を脅かす兵器 = 攻撃的な兵器とされてきた．  
 もっともな考え．

しかし，双方とも文民を保護できない場合，実は対都市兵器は防御的．つまり，抑止の観点からは，攻撃のための兵器 = 防御のための兵器．

都市を人質にした第二撃が抑止には不可欠．

もし逆に，ある国が，能動的・受動的防衛や相手の戦略兵器の破壊によって国民を人質の地位から解放できたら...

現状変更の誘因が発生．

都市を守るための ABM には反対．ICBM のサイロを守るのはいい（！）

例：MRV はいいけど MIRV はだめ．  
 前者は第二撃能力 後者は対兵器能力高いから．

例：ICBM は攻撃にも防御にも使える

例：SLBM は防御用．報復用．  
 精確ではない，他の SLBM の攻撃には使えない．  
 対潜能力 は危険．

### 1.4 拡大抑止

自国を守るためならまだしも，果たして他国を守るためにリスクを冒せるか？

ソ連の西側攻撃を防ぐ手段

通常兵器（米劣位）と核（世界の終わり）  
 西側の恐れ「米はわれわれを見捨てるかも」

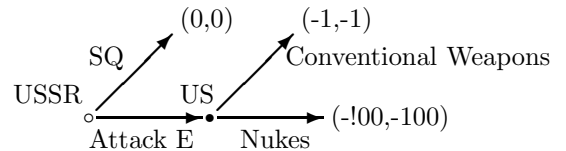


図 2: Extended Deterrence

### 1.5 一般抑止と即応抑止

「データによれば抑止は失敗しがち」

本当か？

二段階を区別すると別の結論が見えてくる．

攻撃国：現状打破！

防御国：現状維持！

標的国：防御国の庇護下

### 1.6 介入の抑止

攻撃国は挑戦に際し，あえて価値の低い争点を選ぶことで，防御国の介入を招かないようにできる．

対照的な事例：

#### ベトナム戦争

攻撃国：米国

防御国：中ソ

標的国：北ベトナム

#### 朝鮮戦争

攻撃国：米国

防御国：中ソ

標的国：北ベトナム